

# 出張! ぼくらの町

Bokurano Machi branch-off edition 2021

2021年5月4日(火)~5月5日(水)(日帰り2日間にて開催)



対象

小学4年生~中学3年生

参加費

一般 5,480円 会員 4,980円  
参加費には2日分のお弁当も含まれています。

会場

広島県総合グランド  
補助競技場

## 感染症対策について

緊急事態宣言の解除やワクチンの拡充など、何をするにも対面は困難を極めた一年前とは、

子どもたちを取り囲む状況がまた変わってきました。

昨年は子どもたちに学びを届けたいという気持ちも虚しく、中止せざるを得なかったぼくらの町ですが、

この一年間で培った感染対策を改めて徹底し、宿泊ではなく来場形式とすることで学びと感染対策の両立を図りました。



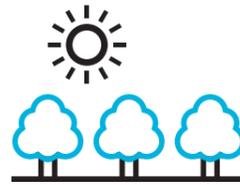
スタッフは毎日検温をしています。  
参加者も当日の検温にて発熱があった場合は参加を見送らせていただきます。



スタッフは必ずマスクを着用し、参加者のみなさんにも原則の着用をお願いしています。



スタッフの対人・対物の接触にあたっては、手指消毒を徹底します。



すべての活動は換気が不要な屋外でおこないます。



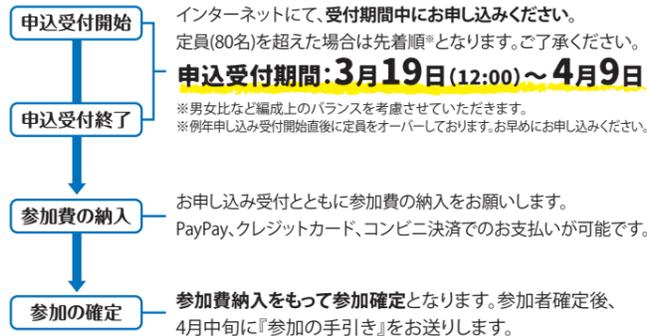
濃厚接触となりうる時間は可能な限り短時間になるよう努めます。



参加者に体調不良が出た場合は、専属の医療スタッフがすぐに対応します。

## お申し込み方法

### ■ お申し込みの流れ



### ■ お申し込みの方法

ホームページ(<http://hiroshimayouth.org>)のパナーから申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力し、お申し込みください。



### ■ 開催要項

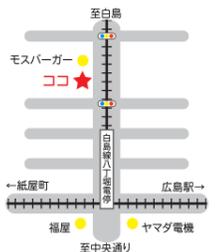
- 日程 2021年 5月4日(火)~5日(水)(日帰り2日間にて開催)
- 会場 広島県総合グランド補助競技場 ● 対象 小学校4年生~中学校3年生
- 定員 80名(先着順) ● 参加費 5,480円(会員4,980円)

広島国際青少年協会は創立60年以上の歴史を誇る社会教育団体です

広島国際青少年協会は1958年に創立以来、児童及び青少年の育成等の活動を続ける、民間の社会教育団体です。少年事業・成人青年事業・国際事業を柱とし、様々な活動を行っています。

### ■ 主催・お問い合わせ

一般社団法人  
**広島国際青少年協会**  
International Youth Association Hiroshima  
〒730-0013  
広島市中区八丁堀6番4号スカイパークビル6階  
Tel: 082-222-1588 Fax: 082-222-1587  
<http://hiroshimayouth.org>  
E-mail: shonen@hiroshimayouth.org



# 子どもたちがつくる、子どもたちの町。

夏の大人気プログラムである「ぼくらの町」が、日帰り開催に形を変えてゴールデンウィークに出張します！

「ぼくらの町」では、子どもであっても、どこかに就職して働かないと生活が成り立ちません。そこで、テレビ会社や、銀行、神社といった希望する職場に就職します。

「ぼくらの町」は、子どもたちがつくる、子どもたちのための町です。この町が素敵な町になるかどうかはキミたち次第だ！

## さあ、仕事を選ぼう！

「ぼくらの町」に行く前にやることは、何の仕事につくか決めること！

銀行やテレビ局、警備会社や神社まで！他にもたくさん楽しい仕事があります。これから始まる生活が、みんなの仕事によって支えられます。さあ、どんな仕事につこうかな？

みんなを楽しませるぞ〜！！



## はじめての仕事にチャレンジ！

仕事が決まったら、さっそくはじめての仕事にチャレンジ！町を守る仕事、みんなの働きが、世界にひとつの「ぼくらの町」を形づくっていきます。はじめての仕事は、キミにとって、みんなにとって、どんなモノになるのかな？



## ガバスってなに??

「ガバス」は「ぼくらの町」専用通貨のことです。就職した企業で働いたお給料として手に入れる事ができます。子どもたちはこの「ガバス」を使って税金を納めたり、食事をしたり、貯金したりしてぼくらの町で暮らします。どうやって使うか考える子どもたちはとっても楽しそう！

## 「ぼくらの町」でくらそう！

「ぼくらの町」でどんな暮らしをするかは子どもたち自身が決めます。住民みんなで楽しく生活ができるかどうかはみんな次第！もちろん、「ぼくらの町」でもお金は必要。働いて手に入れた「ガバス」というお金を上手に使わないと、借金！なんてことになっちゃうかも。えっ、税金まで必要なの!?



## 「ぼくらの町」からみんなの街へ

「ぼくらの町」はこの春に一度だけつくられる子どもたちのための町。どんなに楽しくても、ずっとここでくらすわけにはいきません。一緒に働いた仲間たちや、楽しく暮らした「ぼくらの町」ともお別れ。でも、帰った先にはみんなの街が待っています。キミは何を見つけて、何を帰るかな。



### 大切なガバスで町の経済をまわします！

住民や企業のガバスの預貸を管理し、ぼくらの町の経済を支えます。ガバスとガバチョの両替もお任せください。毎年恒例の宝くじも販売します。



### 情報番組をみんなにお届け

ぼくらの町のテレビ局！ステージで公開収録を行い、様々な番組をお届け。取材内容も自分達で考えて、たくさんの企業の取材を行います。



### みんなの願いを叶えるお手伝い！

ぼくらの町の神様を祀り、各企業の商売繁盛や無病息災を祈ってお祓いを行います。心を込めたお守り・絵馬・おみくじの販売も行います。



### 思い出をステキな形にします！

町の住民がお家に帰っても、ぼくらの町で体験したことや思い出がよみがえるようなステキなお土産を販売します。



### 住民みんなのお手本に！町の安全を守るぞ

町をパトロールして住民の健康をチェックしたり、落とし物を探したりします。ぼくらの町への観光客に入室審査を行い許可証の発行もします。



### ここに最高のエンターテインメントを！

ガリレオは、ぼくらの町のエンターテイナー！みんながあっと驚くステージショーを開催します。クールなパフォーマンスで喜びと感動を届けます。

## 子どもたちが、ぼくらの町で学ぶこと

「ぼくらの町」では子どもであっても、就職して働かないと生活が成り立ちません。数ある企業の中から選んだ職場で、仲間と力を合わせて働くことで給料として「ガバス」をもらうことができます。ですが、会社やお店の人気がないと給料を支払うことも難しくなることだってあります。会社をうまく経営していくためには、一生懸命に考え、試行錯誤しなければなりません。そうして苦労して稼いだからこそ、真剣に考えて暮らしや遊びの為に「ガバス」を使います。また、「ぼくらの町」がどんな町になるかは子どもたちの行動次第で決まります。よりよい町にするためにはどうすればいいか、自分ができることはなにかを、みんなで真剣に考えます。



H・Kさん(保護者)

帰ってくるなり嬉しそうに、「お父さん、ボク社長したんだよ！」と話してくれました。それから、私の仕事の内容や、街で見かける職業に興味を持ち、あれはどんな仕事？と聞かれることが増えました。



S・Tさん(参加者)

知らない子と仲良くなれるか不安でしたが、自分から勇気を出してお店の飾り付けをしている子の手伝いをしたり、どうやったらもっと売れるか話し合いをしたりするうちに最後にはすごく仲良くなれました。

## Voice! 研究者のこえ 次代の社会を担う青少年の育成に向けて

ぼくらの町は、小さな町だからこそ、子どもたち一人ひとりの行動によって良い町にも悪い町にもなりえます。自分の行動によって社会が変わる体験をすることで、「私」の行動が「社会」とつながっていることを

実感することができます。自分で考え、自分で行動し、自分たちの手で自分たちの社会をつくる体験—4つのねらい—を通して、次代の社会の担い手がぼくらの町から生まれることを願っています。

### 主体性

ぼくらの町をより良い町にするために、自分の置かれた状況のなかで、自分が何をすべきかを考え、判断し、責任をもって行動することを体験すること。

### 協働力

職場の仲間やぼくらの町の住民が抱えている問題について、お互いに助け合いながら仲間と力を合わせて解決しようとする行動することを体験すること。

### 社会への効力感

自分の行動がぼくらの町の変化につながる体験を通して、子どもであっても少なからず社会に影響を与えることができることを実感すること。

### 社会的責任

自分の行動がぼくらの町の変化につながる体験を通して、身の回りの問題に不満を持つだけでなく、改善に向けて自分事として行動することの重要性を実感すること。

少年事業委員会副委員長

木村 充  
mitsuru kimura

立教大学経営学部リーダーシップ研究所  
(一財)日本教育研究イノベーションセンター

